

性的指向と性自認

性的少数者を意味する「LGBT」は、LGBT当事者が自分たちのことをポジティブに語る言葉として北米やヨーロッパで使い始められ、日本でも耳にするようになりました。しかし、最近の法務省の刊行物には、性的指向や性自認という言葉で性的少数者を説明するようになっていきます。

性的指向とは、人の恋愛・性愛がどういう対象に向かうのかを示す概念を言います。具体的には、恋愛・性愛の対象が異性に向かう異性愛、同性に向かう同性愛、男女両方に向かう両性愛を指します。

性自認とは、自分の性をどのように認識しているのか、どのような性のアイデンティティ（性同一性）を自分の感覚として持っているかを示す概念です。「こころの性」と呼ばれることもあります。

LGBTのように性的少数者を表す言葉ではなく、性的指向や性自認は誰もがもつ属性の視点であるということです。性的指向は異性、性自認は体と心の性が一致する大多数の人も入ってくるのです。英語では、性的指向・性自認は英語の頭文字を取って、SOGI(ソジ・ソギ)と表記されます。

三重県では、性的少数者の権利を守るための条例ができようとしています。性的少数者であることを強制的にカミングアウトさせたり、勝手に他の人にしゃべったりすることを禁止するものです。悪意が無くても、性的少数者であることを他人に暴露された本人は仕事を失ったり、友人関係が壊されたりするのです。自殺した人もいました。完全な人権侵害に当たります。

世界の国の中には、同性婚を認める国もありますが、逆に、同性愛を禁止する、同性愛者を非難する国もあります。

日本は、どうすべきだと思いませんか？あるTV番組で性的少数者の方が「色々な性的指向があることを知り、私たちの存在を認めて欲しい」と訴えていました。性的指向や性自認を理由とする偏見や差別をなくし、だれもが安心して暮らせる社会をめざしたいものです。